

香港文化博物館よ永遠に…

地元香港の伝統文化からポップカルチャー・大衆芸術まで網羅する、香港マニア＆各方面オタクにはたまらない「香港文化博物館」。ところが北京政府の産業・軍事功績を顕彰する新博物館の計画が浮上し、現有の博物館展示を押し出して新設するため、玉突きで閉館の危機にあります。なくなる前に見ておきましょう。ステキな展示がいっぱいです！**しかも無料です！**

MTR馬鞍山線「車公廟」駅下車 川を渡って徒歩5分



常設展示「粵劇文物館」



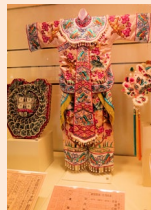
中国各地でつくづく伝統演劇のうち、広東一帯で演じられる歌入り芝居で「広東オペラ」の俗称もある「粵劇（えつげき）」。その絢爛豪華な世界、土着文化としての発展史をあつめた大規模展示です。

天井までドカンとそびえる祭事の巨大幕。神様へのささげもの、祭りに華を添える存在として、芝居ではなくてはならぬ存在。「トワイライト・ウォリアーズ」クライマックスの盂蘭盆会シーンを思い出す人も多いでしょう。盂蘭盆会も、異界から集まる神々をもてなす晩夏の伝統祭事のひとつです。



ごく現代に近い時分まで、香港には粵劇の専用劇場がいくつもあり、大衆娯楽の王様として君臨していました。広い館内を生かして舞台や寺廟の門を完全再現。粵劇を全く知らない者でも、圧倒的なスケールにのまれます。)

レアな名演台本や衣装展示もある(ようです。
筆者には全く価値がわからない。でも綺麗。



2階ポップカルチャー常設展示「瞧潮香港 60+」



第二次大戦後から21世紀まで、香港の大衆文化を網羅した展示です。映画やポップソングなどに加え「テレビ番組」「雑誌」「おもちゃ」など、あまり博物館収集物にならないものにまでスポットを当てており、我らオタクは見飽きることがありません。